

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		アイリスクラブ玉造		公表日		2025年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	時間帯によって、年齢別に部屋を分け、お子さまが落ち着いて過ごせるように配慮しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	5	お子さまの人数に応じて配置するスタッフを分けています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	各部屋に動物のイラストを貼り、わかりやすいようにしています。段差がなくバリアフリーの環境になっています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		ゆったりと過ごせるようなスペースを確保しています。レクリエーションや自由あそびの際に用途によって空間を分けています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		お子さまの様子に合わせて個室も使用できるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	朝終礼で目標の設定や振り返りを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		頂いた意見を基に改善を行っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		事業所会議や朝終礼で情報共有を行っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	内部監査を実施しています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		定期的に社内研修を行っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		事前に保護者様に予定や目標を提示したうえで、子ども一人一人に合った支援プログラムを作成しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		定期的に保護者様と面談を行い、お子さまの希望も取り入れていた計画書を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		事業所会議で共有を図っています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		計画内容を基に支援プログラムを作成しています。職員同士で話し合いながらプログラムを組み立てています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	社内標準の書式を使用しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		個別支援計画書に記載した上で、本人への直接支援だけでなく、保護者へもフィードバック等で支援を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	朝礼で情報共有を行いながら立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		各日付ごとに大きな目標に分けてプログラムを作成しています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		集団活動と個別活動それぞれの内容を記載しています。こどもの様子や年齢に合わせて、保護者と話し合いのもと決定しています。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		当日の支援の流れ・内容・担当などを決めて、チームの連携を取っています。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終礼の中で、振り返りや児童の様子や気づいた点など共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		お子さまの様子や特記事項を記載するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的な面談の機会を設けて、支援計画を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10		「4つの基本活動」を基に目標を設定しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		写真や選択肢の提示も行いながら、自身で考えて行動できるような促しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児発管やお子さまの情報を詳しい職員と一緒に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		学校の連携や相談支援事業所との連携に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		適宜、保護者や学校に連絡しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	園や入学先に訪問し、児童について情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	支援計画や成長の過程などの共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5		#REF!
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	近隣の保育園の行事に参加したり、合同でイベントを行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時にフィードバックを毎回行っています。別日での面談の機会を設けて、保護者様とお話する機会を増やすように心がけています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	適宜面談を行ったり、個別療育に取り組んだりしながら情報共有を行っています。	
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		アセスメント時に毎回確認を行っています。個別支援計画書作成の際には必ず面談の時間を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		個別支援計画書の更新の時は、一読いただき、了承いただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		相談を受けた際には助言を行い、スタッフ間でも共有しています。フィードバックの際に相談をうけ、後日面談での対応もさせていただいています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	6	小集団療育を通して、保護者同士の交流の場を設けています。	

明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		スタッフ間で共有し、対応しています。個別面談や電話での聞き入れ、事業所全体で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	1	毎月おたよりを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵つきのロッカーに保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		適宜、面談やフィードバックを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	定期的にイベントを行い、来訪していただいています。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		3か月に1回避難訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	お子さまも含めて訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時に確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3	研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	契約時に説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		日々、確認や共有を行い、発生した際は必ず共有し再発防止の策を講じています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		定期的に研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1	現在、対象のお子さまはいらっしゃいません。		